

たかねざわ



明日への想い 笑顔がはじける

Contents

- 次年度予算決まる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- クローズアップ主な目玉事業・・・・・・・・・・・・ 5
- 予算決算特別委員会
「みんなのお金の使いみちチェック」・・・・・・ 6
- 教育・医療・災害など6議員が町政を問う・・・・・・ 15
- 特集
「阿久津小学校の卒業生に聞いてみっぺ」・・・・・・ 22
- 突撃インタビュー～感謝～若色三男さん・・・・・・・・ 24



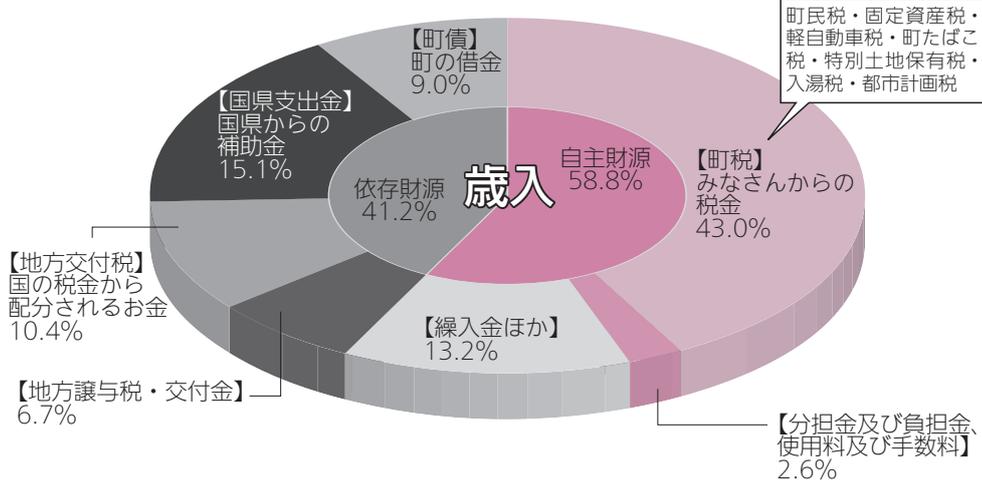
96億3,300万円! 大型事業で予算額大幅アップ!!

3月 定例会



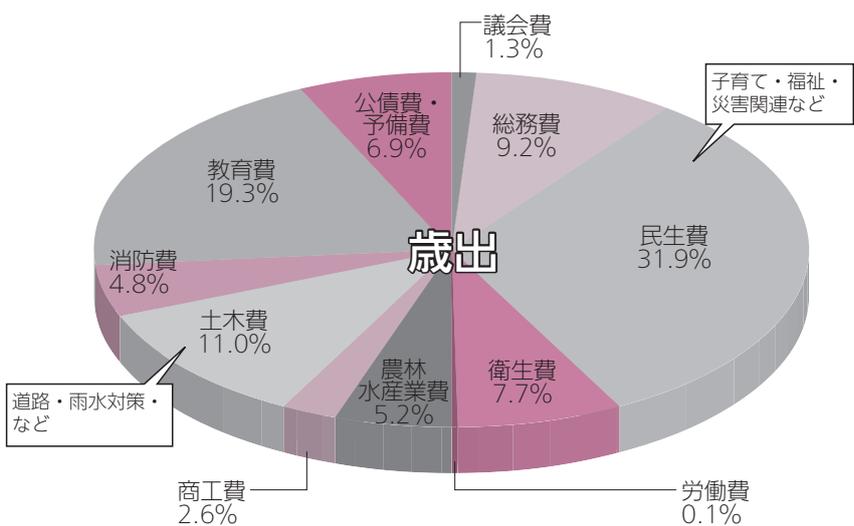
第378回議会定例会のあらまし

今定例会は、平成29年2月28日から3月16日までの期間で開催されました。平成29年度一般会計・特別会計予算、工事請負契約の他、議会発議による「議会予算特別委員会の設置」、「高根沢町クリエイターズ・デパートメントの設置及び管理に関する条例の制定」、「国民健康保険税条例の一部改正」、「高根沢町職員の育児休業等に関する条例の一部改正」など、29件の議案を審議しました。また、常任委員会では、平成28年度一般会計・特別会計補正予算、「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」などの審査を図りました。なお、議会予算特別委員会の設置により、議員全員で今年度予算を審査し、合計116件の質疑を行いました。この度、傍聴に来てくださった方は延べ20人でした。



前年度との比較増減

歳入	29年度	28年度	増減比率
町税	41億4355万円	41億1463万円	0.7%
地方交付税	10億円	9億円	11.1%
国・県支出金	14億5462万円	15億7222万円	△9.3%
町債	8億6290万円	7億2150万円	19.6%



前年度との比較増減

歳出	29年度	28年度	増減比率
民生費	30億7737万円	30億6455万円	0.4%
教育費	18億5901万円	13億7131万円	35.5%
土木費	10億6304万円	10億9327万円	△2.8%
農林水産業費	5億0375万円	5億7053万円	△11.7%

平成29年度一般会計予算 総額

学校建設、各小学校エアコン整備など

町国民健康保険税条例の一部改正 国保の税率が引き上がります！

国民健康保険特別会計は、近年の医療費が伸び、収支の均衡を取ることが難しい現状にあります。そのため、近隣他市町並みの課税水準に引き上げ、財政の健全化を図る状況になりました。

改正内容は、医療給付費分の所得割を「1.2%増」に、後期高齢者支援金分は「0.4%増」、また介護納付金分を「0.2%増」に引き上げ、平成29年度の保険税は平成28年度に対して、約7744万円の増額（見込み）を図り、健全な財政状況にします。

議会では、健康対策を講じて医療費抑制につなげていくよう要望し、全会一致で可決しました。

名 目	29年度当初予算	28年度当初予算	伸び率(%)	
一 般 会 計	96億3300万円	92億8000万円	3.8	
特別会計	国民健康保険	32億4447万円	31億4437万円	3.2
	後期高齢者医療	2億3806万円	2億4511万円	△2.9
	介護保険	19億9493万円	20億4271万円	△2.3
	宝積寺駅西第一土地区画整理事業	2億2082万円	2億3484万円	△6.0
	公共下水道事業	9億5218万円	10億5899万円	△10.1
	農業集落排水事業	1億5782万円	1億7368万円	△9.1
水道事業会計	9億4940万円	7億9303万円	19.7	
合 計	173億9068万円	169億7273万円	3.0	

医療給付費分			
課税区分	現行	改正後	摘要
所得割(前年所得に応じて)	7.0%	8.2%	1.2%増
均等割(加入者数に応じて)	2万2800円	2万6000円	引き上げ
平等割(1世帯毎に)	2万1000円	2万3500円	引き上げ
限度額	54万円	54万円	変更なし
後期高齢者支援金分			
課税区分	現行	改正後	摘要
所得割(前年所得に応じて)	2.6%	3.0%	0.4%増
均等割(加入者数に応じて)	9000円	9000円	変更なし
平等割(1世帯毎に)	8400円	8400円	変更なし
限度額	19万円	19万円	変更なし
介護納付金分			
課税区分	現行	改正後	摘要
所得割(前年所得に応じて)	1.8%	2.0%	0.2%増
均等割(加入者数に応じて)	8000円	8000円	変更なし
平等割(1世帯毎に)	6000円	6000円	変更なし
限度額	16万円	16万円	変更なし

東小学校の工事請負契約を可決 素晴らしい校舎建設に期待!!

現在の東小学校は老朽化が進み、それに伴う校舎新築工事の請負に対し、事後審査型条件付の一般競争入札が行われました。この結果、宇都宮市の「渡辺建設株式会社」となり、契約に関し賛成多数で原案のとおり可決しました。

契約金額は、9億504万円（税込）で、工事期間は平成30年7月31日までです。

新校舎は、北高根沢中学校の北側の町有地に新築されます。また、北中と東小の校舎を連結させ、小中一貫教育を進める本町教育の推進モデル校として、義務教育の9年間を見通し、児童と生徒が施設を共有しながら義務教育の充実を図っていきます。



定例会の中で、一般質問の日は、特に傍聴者の方が多く来られ、議員と執行部の政策論の様子をご覧いただいています。

今回の傍聴者の声は、初めて傍聴した安藤さんに伺いました。安藤さんは、「今までチャンスがなく、初めて傍聴に来て介護政策等の実態にふれることができた」と話してくれました。

また、「町民であったら一度は議会傍聴に行ってみるとよい」、「議員の勉強の様子が変わります」と言われ、その声にハッと我に返りました。



傍聴した感想を
聞いてみました

固定資産評価審査委員が
新たに選任されました。



阿久津正道 氏 (大谷)
平成29年4月25日～平成32年4月24日
(任期 3年間)

各々の議員が行政運営をしっかりと審査 3月定例会での採決結果一覧表

議案	議員名	佐藤晴彦	鈴木伊佐雄	渡邊俊	中山喜美一	加藤章	齋藤武男	川面充子	梅村達美	横須賀忠利	小林栄治	森弘子	松本潔	野中昭一	鈴木利二	阿久津信男	採決結果
第1号	専決処分事項 平成28年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第2号	固定資産評価審査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第3号	クリエイターズ・デパートメントの設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第4号	町名及び町界の変更に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第5号	情報公開及び個人情報保護に関する条例及び個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第6号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第8号	職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第9号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第10号	技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第11号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第12号	児童館及び学童保育所設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第13号	遺児手当支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第14号	平成28年度 一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第15号～19号	平成28年度 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険 ・公共下水道事業特会 ・水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第20号	平成29年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	◎
第21号	平成29年度 国民健康保険特会予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第22号～24号	平成29年度 後期高齢者医療・介護保険 ・宝積寺駅西第1土地区画整理事業特会予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	◎
第25号～27号	平成29年度 公共下水道事業・農業集落排水事業特会 ・水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第28号	工事請負契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	◎

※1 加藤 貞夫議員は、議長であるため採決に加わりません。 ※2 ○は賛成で、×は反対、◎は可決の意味を表しています。
※3 特会は、特別会計の略称です。

陳情と意見書の審査をしました。

- 1・意見書名
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
- 2・意見書提出者
栃木県町村議会議長会
会長 鈴木理夫
- 3・意見書提出の理由
国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を求める意見。
- 4・質疑内容
8ページの総務常任委員会報告をご覧ください。
- 5・審議結果
閉会中の継続審査

1・陳情書名
「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情書

- 2・陳情者提出名
栃木県保険医協会
- 3・陳情書提出の理由
国では「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しを検討しているが、患者負担増で受診抑制がおきないように、現行の高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の継続を求める陳情。
- 4・質疑内容
9ページ教育福祉常任委員会報告をご覧ください。
- 5・審議結果
不採択

平成29年度の新規事業 クローズアップ

3月定例会

予算審査

委員会審議

所管事務報告

OH知識・コミュニケーション

一般質問

特別企画



インフルエンザ予防接種事業
48万円

受験を控えた中学3年生を対象（希望する方）に実施する事業です。



ICT教育推進事業
332万円

情報教育推進のため、町内全小中学校に電子黒板等を設置する事業です。



小学校のエアコン事業
4,825万円

中学校に続き、小学校にエアコンを設置し、学習能率向上のための事業です。

教育環境と人と人とのつながりが
高まる事業に期待



骨髄移植ドナー支援事業
42万円

骨髄提供者に1日2万円（7日を限度）、事業所に1日1万円（7日を限度）を支援する事業です。



JR烏山線沿線
町づくり推進事業

500万円
那須烏山市との連携によるJR烏山線を活用したまちづくりの推進事業です。



元気あっぷポイント事業
140万円

高齢者の生活を支援するボランティアを対象に、活動実績に応じてポイントを付与する事業です。（詳細は7ページを参照）

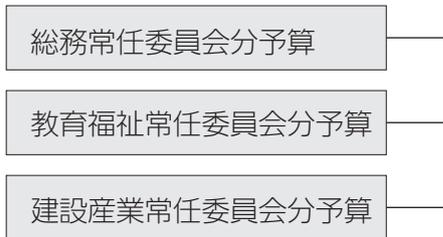
チェックします

総額173億9,068万円を可決

予算を慎重に審査するため特別委員会※1を設置しました

3月議会定例会より当初予算の審査方法が変わりました。
 今までは、各常任委員会※2ごとに所管分の予算だけを審査していましたが、平成29年度当初予算から予算特別委員会を設置し、全議員が全ての当初予算を審査することになりました。
 これにより、町全体のお金の使いみちを議員全員が把握でき、より慎重な審査ができるようになります。

【旧】



各委員が審査

【新】



予算特別委員会（議員全員）で審査

※1 特別委員会：特定の問題の調査・審査を行うために必要に応じて設置される委員会

※2 常任委員会：本会議から付託された議案の審査や、町の事務に関する調査などを行う常時置かれている委員会

A 町民や事業者が町の管理する道路・河川・公園等を、ボランティアによる美化清掃活動に対し町が支援します。

Q 事業内容はどのようなものか？

まち美化パートナー事業
 （新規事業）

隊員の活動補助金1800万円は、本町で必要な経常的経費の補助で、内容は報酬・活動事業費等です。

A 地域おこし協力隊3名が「移住・定住・創業支援センター」での窓口相談」を対応し、「駅の前のマーケット」、「行っちゃおう？たかねざわ」、「クリエイターズ・デパートメント」とそれぞれのミッションを遂行します。

Q 29年度の活動内容は？

地域おこし協力隊政策経費



登録してみたいかがですか？
 問い合わせ 町環境課
 (675-8109)

A 自主防災組織のリーダー的人材育成を目的に5名の取得者を目指し、今後は事業の状況を見ながら検討していきます。

Q 防災士資格取得を5名で算定しているが、受講人数が増えた場合の対応は。
 また、自主防災組織活動資材購入補助の内容は？

自主防災組織育成事業
 （新規事業）

新年度予算

一般・特別・企業会計

過去最大の予算規模

ICTを活用した教育の推進
(新規事業)

Q どのように活用を進めていくのか?

A 平成29年度は、全ての学校に「電子黒板」や「書画カメラ」を導入し、「タブレット」や「校務支援ソフト」などを活用して、町と包括連携を結んだ企業の「SSCIT」の協力を得ながら授業を研究していきます。

元気あっぷポイント事業
(新規事業)

Q 事業内容はどのようなものか?

A ボランティア講習を受講した元気な高齢者（町内の65歳以上）が登録した施設等でボランティア活動を行い、1回1時間以上の活動につき1ポイント（100円）を付与する事業です。

貯まったポイントは商品券や温泉券などに交換できます。

シルバー人材センター補助
(新規事業)

Q 収入総額に占める町補助金の割合は何%か?
また、国庫補助を受けるランク※と直近の事業実績は?

A 収入総額は7723万円、平成29年度も同程度と想定した場合、町の補助金は710万円は9.2%となります。
また、ランクは「B」で、受託数1560件、契約金額は約5975万円。
公共が45件で、民間が1515件です。

※シルバー人材センターの会員数と就業延べ人員数によってA〜Cまでのランク分けがされています。



役場内の植栽剪定
培った技術を活かして

道の駅整備事業
(新規事業)

Q 道の駅に登録した場合の効果は?

A 地元の農産物販売や道路休息施設として知名度の高い道の駅のブランド名称を加えることにより、町民にとって身近な施設である元気あっぷむらを中心とする地域活性化を図るため、必要最小限の投資で整備し、高い効果が得られるように取り組みます。
登録資料作成のほか、プロジェクトチームを発足し、登録効果も検討します。

農畜産振興費

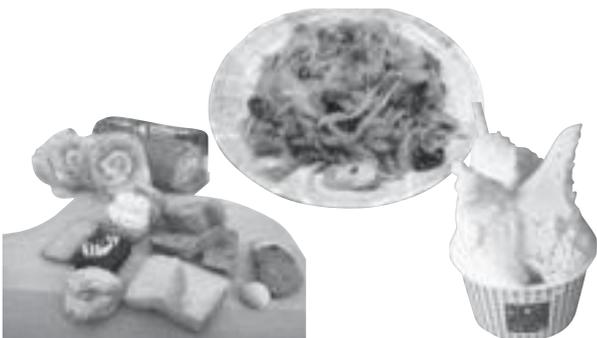
Q 食肉センター出資内容は?

A 芳賀町稲毛田に平成32年度開業予定であり、総事業費約123億3千万円です。
当町の負担額は500万円です。

農産物加工品ブランド化
推進事業

Q どのような農産物を、どのように展開しようとしているのか?

A ちよつ蔵広場におけるマーケット開催を通して交流人口増加を図るとともに、「高根沢焼きちゃんぼん」、「スイーツ・パン」、「ジェラート」を食べていただき、町内産農産物の消費拡大につなげることを目的としています。



大好評の高根沢新グルメ

総務常任委員会

付託案件の審議報告

所管課(総務課・夢咲くまちづくり推進課・企画課・地域安全課・税務課・環境課・会計課・監査委員事務局・議会事務局)

クリエイターズ・デパートメントに関する条例を審議

本町は、定住人口増加プロジェクトを平成27年2月に定め、都市計画マスタープラン等の見直しや、交流人口増加及び移住・定住施策を進めており、その一環として今秋に、宝積寺駅東口にクリエイターズ・デパートメントをオープンします。

移住・定住・創業支援センターを拠点事務所にして、その周りに5棟のログハウスを建設し、物品の販売等を目的とした就業希望者に貸出できるようにするため、条例を設置するものです。

※クリエイターズ・デパートメント
地方創生を掲げる国策に基づき、地方の新しい活力を生み出すことをねらいとした就業支援等を行う場です。

Q クリエイターズ・デパートメント事業の周知をどのようにするのか？

A 東京の県関係機関や駅前イベント出展者、地域起こし協力隊のネットワークを活用して、リーフレットを配布し、またSNSで情報を発信して本町での就業を促します。

Q 創業支援センター運営のスタッフの配置は？

A 地域おこし協力隊3名が窓口となっており、就業の相談にあたります。



創業をめざす方が
ちよっ蔵広場に
新たな魅力を創ります

条例の一部改正

職員の勤務時間、休暇にフレックスタイムが可能になります。
主な質疑

Q 勤務時間のフレックスタイム制の導入は、組織の大きな機関であれば、その機能が十分図れるが、少人数の部署では活かされないのではないか？

A 条例改正は、国の法令改正に準じるものであり、現実にごわがない部署もあるが、保育園等の勤務には運用できると考えています。

一般会計補正予算審議

消防団員の安全装備品が追加計上される。

主な質疑

Q 消防団員の安全装備品助成金の具体的な使い道は？

A 栃木県からの助成金を使い、非常備消防費として、雨天時の消火活動や水害等の際に着用する雨具を整えます。

日常調査報告

災害時の安全な対策を目指して

災害時の安全を講じる対策は、喫緊の課題であり、いざという時の避難訓練はもちろん、資機材の取り扱い方、要援護者の把握など、課題は山積しています。

昨年調査した栃木市の、小中学校での防災教育の取り組みなどは大いに参考になりました。

課題克服の一步として、地震や大雨等の情報伝達をいかに図るのか？

その方法を確立することが、早急に必要であることからしっかりと取り組んでいきます。

「まちなみ美化パートナー事業」を立ち上げました。

本町は緑豊かな空間を有し、住みよい環境保全是自治会の道路・河川愛護活動に支えられてきました。

今回は更に、自主的な協働の力で環境美化と地域コミュニティを豊かにすることを目的に、「まちなみ美化パートナー事業」を4月1日からスタートしました。

必要な物品の貸与や保険の加入は町が支援します。

建設産業常任委員会

付託案件の審議報告

所管課（都市整備課・産業課・上下水道課・農業委員会事務局）

平成28年度一般会計補正予算

主な事業

・ 農業振興対策費	△3416万円
・ 農畜産振興費	△263万円
・ 水田農業対策費	△62万円
・ 商工総務費	△85万円
・ 地籍調査費	△639万円
・ まちづくり推進費	△239万円

今回の補正の主な内容は、「担い手確保・経営強化事業」や「とちぎの園芸活力創造総合推進事業」等に係る県支出金の減額は、事業支出の確定によるものです。

補正予算審議（産業課）

Q

担い手確保・経営強化支援事業※が1420万円減額になった理由は？

※意欲のある農業者に対し、経営発展に必要な農業機械などの導入を支援する国の事業

A

この事業は、TPP関連の国の事業であり、申請者となる農業経営体の取り組み状況をポイント化して、上位者から採択される仕組みとなっており、本町でも3件の方が申請したが、採択まで至らなかったため減額しました。

3月定例会予算審査

委員会審議

所管事務報告

OH知識・ちよんしゃ

一般質問

特別企画

日常調査報告

元気あっぷむらの新しい取り組みに期待

当委員会では、食と健康の拠点である「元気あっぷむら」を取り巻く現状について、2月22日に（株）元気あっぷ公社と元気あっぷむらの活性化に向けた意見交換を行いました。

※参考

平成29年度予算として、指定管理委託費4680万円の管理料を計上しております。



こころも身体もほっかほか「金ごま担々麺」

Q

昨年の議会報告会における参加者の方から、「送迎バス乗車場所を宝積寺駅だけでなく、役場なども含めて増やしたらどうか?」の意見があり、これにどう考えるか?

A

平成25年12月までは、運行路線上の各地区で乗り降りしていましたが、運行路線が片側1車線のため、バスが路線上で停車すると事故を誘発するとの苦情が多数寄せられ、宝積寺駅での乗降に限定しました。公共交通との関係を考えながら今後の対応を考えます。

新メニューのお知らせ

新メニューとして、期間限定（1月～3月）一日10食限定の「金ごま担々麺」をさっそく食べてきました。

この金ごまは、昨年桑窪地区で生産された「金胡麻」であり、この金胡麻は、国産自給率0.1%ととても希少なこともあり、毎日ほぼ完売しているとのことでした。

期間限定の理由は、元気あっぷに入荷する量が少数であり、定期的の販売は困難なためです。

所管課の産業課では、農地活用のひとつとして「金胡麻」があり、農家の所得向上になればと期待しています。

来年は、桑窪地区の生産者は、昨年の1.5倍の耕作面積拡大を予定しています。

興味のある方は、町産業課（675-8104）に問い合わせてください。

平成28年一般会計補正予算 主な事業

- ・マイナンバーシステム運営費
△約29万円
- ・臨時福祉給付費
△1620万円
- ・経済対策臨時福祉給付金
1620万円
- ・高齢者支援政策経費
△155万円
- ・介護保険別会計繰出金
約1474万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金
1957万円
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金
△約483万円
- ・小中学校施設修繕・改修事業費
△300万円
- ・小山文化スポーツ振興事業費
△約101万円

一般会計補正予算審査

国保給付費が伸びている状況に、抜本的な議論の必要性を提言！

説明

国保医療費の増大に伴い、一般会計の民生費から、国保特別会計に1957万円を繰り入れするものです。

主な質疑

Q

国保医療費が、不足した時に一般会計から制限なしに繰り入れる考えか、それとも一定の歯止めができるように整理すべきと考えるのか？

また、町は国保加入者の構成や変化、医療費の増大等をどう考え、どう被保険者が国保に対し、理解してもらえるよう取り組むのか？考えを持ってもらうことが必要では？

A

国保特別会計に一般会計からの繰入は、保険基盤安定の「保険税軽減分」、「保険者支援分」、「職員給与費等」、「出産育児一時金」の4項目に特定した法定内繰入で、制限のない繰入は行っていません。

また、国保財政健全化計画には、医療保険給付費の増加推移、財政状況が記され、税率改正に至った経緯がわかります。

この計画書を被保険者に配布し、厳しい国保財政状況への認識と理解を深めていただきます。

小山文化スポーツ振興事業 の対象事業要件の緩和を！

説明

事業の確定により、当初予算からの差額約101万円を減額するものです。

28年度の利用団体は、10団体でした。

主な質疑

Q

歳入・歳出が減額になった背景に、事業受付時期や、対象事業の要件に課題があるのではないか？

A

従来の受付時期は、新年度に入ってから受け付けていたが、新年度からは債務負担行為で予算を担保し、前年度3月から受付できるようにします。

対象事業要件は、全町に係る事業でなければなりません。

今後は、事業を実施しようとする団体等が出てくるよう、より一層PRしていきます。

陳情書審査

「高額医療」・「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情審査

国の動きや、負担と給付のあり方などの推移を見守る必要があります。

説明

本陳情は、厚生労働省の社会保障制度審議会（医療保険部会）で、70歳以上の自己負担額や高額医療の窓口負担引き上げを検討しています。負担の増加により、受診抑制が起きないためにも、現状の制度を維持することを求めている陳情です。

主な審査内容

- ・ 厚労省の動向が不明確。
- ・ 負担と給付の抜本的なあり方などの議論の推移を見守る必要がある。
- ・ 陳情理由は十分理解できる。

などの意見があり、総括したところ、時期尚早であるとの意見にまとめられました。

審査結果

全員一致で不採択としました。

任委員会 審議報告

課・住民課・健康福祉課)



厳しい国保財政！国保加入者の理解と協力が不可欠



小山文化スポーツ事業を利用した大谷地域 五行川での「なまず祭り」

常設福祉教育 の付託案件

所管課

(こどもみらい課・生涯学習)

日常調査報告

福祉も教育も互助の連携が必要!!

みんなが繋がる「ハピネスタウンたかねざわ」

3月定例会 予算審査委員会 審議

所管事務報告

〇H知識・ちよんりゅう

一般質問 特別企画

本町において、地域包括ケアシステムを構築する上で、先進的な取り組みをしている群馬県富岡市に、昨年10月20日に研修に行きました。

同市は、いつでも、誰でも自由な時間を過ごせ、住民の主體的な活動(生きがい活動)ができる「居場所」を各地域に構築し、住民同士が支え合い、助け合う絆の深い地域づくりをしています。

こうした「互助力」の構築は、地域の現状や住民意識によって変わり、いかに健康で住み慣れた地域で暮らし続けるためには、どのような取り組みや、行政支援が必要かをしっかりと追求し、本町にふさわしいシステムをさらに検討し結論を出していきます。

報告①
「地域包括ケアシステムの充実を図るには」
本町に必要な「互助力」はいかに!



西根地域のサロン

北小スクールガード

みんなで作ろう♪
楽しく暮らせる高根沢町(^^♪

報告②
「コミュニティスクールにどう取り組むか」
より良い学校運営を進め、教育環境の向上へ!

昨年10月21日に、「信州型コミュニティスクール」を取り組み、成果を上げている長野県東御市を研修しました。

同市では、学校と地域のつながりや、学校ボランティアの発掘と組織化などを展開するコーディネーターを配置し、学校支援や地域への広報・啓発、ニーズの掘り起こしを行い、学校と地域の連携組織「学校運営委員会」を構築し、学校運営の参加、学校評価を一体的・持続的に実施されています。

本町では、「学校評議員制度」を導入しており、学校・家庭・地域が連携協力し、子どもの健やかな成長を担っていくために、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握・反映しながら、学校としての説明責任を果たし、地域に開かれた学校づくりを行っています。

本町に適した学校運営は、従来どおりか、それとも新たな形かをしっかりと検証し、子どもたちの教育環境をより良いものにしていくために、次年度も調査を進め一定の結論を提言していきます。

報告③
「阿久津小学校の現状と2年点検における調査」

これから何十年も子どもたちが通う校舎に対し、快適に過ごせるかどうか、今後も継続調査する。

阿久津小学校新築後の状況について、本委員会は重大な関心を抱いており、昨年7月と12月に、修繕工事と工事完了の現地調査を行いました。

町当局より、修繕はすべて完了の報告があったが、各委員が見回った結果、完全でない状況があったため、再修繕や今後の対応を求めました。

その後、今後の対応として、校舎クラックは5年点検を実施し、必要な対策をすること、瑕疵担保から請負業者に今後の負担を強いることは難しい等の報告を受けました。

どこまでが施工業者の責任か、どこまでが監理業務委託者の責任なのか、また、クラック等の意発原因が明確でないことを踏まえ、今後も継続調査していきます。



本町の東日本大震災復興のシンボル「阿小」議会の責務としてしっかりと検証していく!

捨てられない広報誌づくりへの挑戦!!

平成29年2月8日 埼玉県三芳町役場にて実施

調査目的

「たかねざわ議会だより」が、より町民に親しまれ、より読みたくなる議会報にするため、行政広報誌コンクルの各部門で何度も入選している、埼玉県三芳町へ行きました。広報誌にかける思いや作成のポイント、住民参加型の仕組みなどを教わり、今後の広報誌作りに活かすため、調査してきました。

聞いたちゃいました！ 私たちの議会報の感想

記事につながる、分かりやすい写真の導入があり、見出しやキャッチフレーズで、一目でわかるように工夫され、住民の方の意見や特集があつて、「親しみを感ずる広報誌」で、クオリティは高いと評価いただきました。

三芳町職員の、広報誌にかける思い

ゴミステーションに捨てられた広報誌を見て、「ゴミ箱行きの広報誌は税金のムダ」、読まれない、愛のない広報誌はやめて、住民が主役で、知りたい情報を載せ、人の心を動かす「日本一の広報誌」を作ると決意し、改革を始めたとの事でした。

改革ミッション①

町長の心を動かす

三芳町の林町長は、職員の「やる気」を理解し、「やりたい職員」を全職員対象に公募しました。

また広報をはじめいろいろな分野で公募を行いました。その結果、行政内が活気づき、広報分野では常にコンクールで入賞する結果につながりました。

改革ミッション②

細部にこだわった誌面の作成技術向上

見やすくする工夫として、ホワイトスペースの利用、少ない文字で簡潔なわかりやすい文章、キャッチフレーズを、一番捉えやすい13文字程度で注目させるなど、様々な誌面作成の技術を取り入れています。

改革ミッション③

三芳町のFANとFUNを増やす



多くの住民参加がある撮影会

若者が親しみやすいように、スマホを利用したAR・QRの活用、外国の方にも読んでもらえるように5ヶ国に5言語化された広報を読める「カタポケ」アプリの利用、住民参加につながる、「スナック撮影会」や企業とコラボした「フォトコンテスト」の実施、こうした機会をおし、三芳町を好きになる「FAN」と、楽しむ「FUN」を増やし続けています。

調査を終えて

今回の調査で感じたことは、私たちの取り組みと共通点があり、写真を多く取り入れること、スマホ等を利用した最新技術の起用、業者とは最低限のかかわりで、自分たちが作成していることです。今後、多くの住民

が手に取り、隅々まで読んでいただけるような広報誌を目指し、思いや視点を変え、住民参加型の、町民と共にある議会報につなげていきます。



三芳町広報紙1月号

三芳町出身の町広報大使元モーニング娘の「吉澤ひとみ」さんを誌面各所で起用



小道具でも三芳町「好き」「楽しい」の工夫がいっぱい！

皆様の意見を反映できる議会を目指して

平成29年2月10日 壬生町、上三川町、芳賀町を調査

調査目的

町の意思決定機関である議会議員の定数を自らが図り、「町民の皆様の信託に応えられる人数であるか」、「現在の議員定数は妥当であるか」を検証するために、「議員定数検討特別委員会」を設置し、検討しています。

他市町議会の定数削減に至った背景と理由を調査し、今後の定数検討に活かすため、壬生町、上三川町、芳賀町に行ってきました。



壬生町議会との意見交換

壬生町議会

本町が4万人構想に作り組んでいることから、壬生町を選定しました。

人口 39,807人
(昨年末)
議員定数 16名
議員一人当たりの
町民数 2,488人

主な内容

- ・ 22名から16名と大きな削減をした。
- ・ 当時、合併ブームであり合併をしなければ、定数を減らすという雰囲気であった。
- ・ 報酬を上げることが全く検討せず、今考える必要であった。
- ・ 減らすことばかり考えるのではなく、増やすことも考え、高根沢が率先しては。

上三川町議会

人口が、本町と同じ規模であることから、上三川町を選定しました。

人口 31,440人
(昨年末)
議員定数 16名
議員一人当たり
町民数 1,965人

主な内容

- ・ 合併しないことで決断により、議会が簡素で効率的な行財政の取り組み調査・検討を行った結果、20名から16名に削減した。
- ・ 議会改革検討会を設置し、「議員の品格・マナー」などの研究・検討を行い、議会改革につとめている。
- ・ 議員のみの報酬では生活できないと考えられており、現在検討会で協議中である。

芳賀町議会

最近削減した町であることより選定しました。

人口 15,899人
(昨年末)
議員定数 14名
議員一人当たり
町民数 1,136人

主な内容

- ・ 平成23年の町議選で、定数16のところ定数割れにより15名となったことで、これを受けて削減した。
- ・ 人口4万人を目指すのであれば、定数を増やすことも考えたかどうか。
- ・ 女性をもっと立候補して、女性に視点があてると議会がより活性化すると考える。
- ・ 定数を減らしすぎると町民の意見を吸い上げられなくなる。

次回開催に向けて

調査の中で定数を減らしすぎたとの反省があったが、少ないなりに工夫して議会運営がされていることもわかりました。

より一層、町民の皆様の信託に応えられる人数であることを検証し、様々なことを検証し、さらなる検討を進めていきます。



芳賀町議会との意見交換

都市計画法ってなあ〜に？

市街化区域と市街化調整区域の「原則」

都市計画法は「都市の健全な発展と秩序ある整備を図ることを目的に昭和43年に定められた法律です。」

都市計画の対象区域は、一定の該当する市街地の総合的に整備、開発と保全する必要がある区域を「都市計画区域」として県が指定します。

都市計画区域は「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分され、通称、「線引き」と呼ばれ、これは、本町にも当てはまり、昭和45年8月に県から指定されており、市街化区域は、579・3 ha、市街化調整区域は、6507・7 haとなっています。

市街化区域は「すでに市街地が形成している区域」と「おおむね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域」であり、「用途区分」が定められています。



左が「市街化区域」、右が「市街化調整区域」です

また、都市施設として、「道路」・「公園」・「下水道」が定められ、その整備が重点的に実施されるほか、「土地地区画整理事業」や「市街地再開発」などの面的な整備を進める区域が市街化区域です。

市街化調整区域は「市街地を抑制する区域」で、「用途地域」を定めない区域です。

また、自治体などによる都市基盤の整備もしいことが原則となっています。

ちょっとブレイク 町章・町花・町木・町鳥のいわれ

町木
いちよう



街路樹にも適し、樹勢が強く大木となり、葉は末広がりので黄葉すると美しく、繁栄する町の姿を象徴します。

町鳥
ひばり



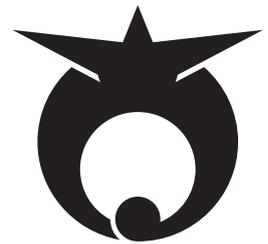
豊かな牧草地や鬼怒川の河川などに一年中生息し、春の訪れとともに空高く舞い上がり明るくさえずる声は町民の和をもたらします。

町花
あやめ



古くから田園に群生し、情緒豊かな花で庭園の花としても広く親しまれ、根が強いことから町の安定と発展を意味します。

高根沢町町章
(昭和34年12月25日制定)



高を大きくはばたく鳥にデザインし（発展）、上部の山は山脈、下部の波頭は町内三大河川と町民の融和を表現したものです。

町政を

問う！

6人の議員が登壇

- ◆ 梅村達美 議員…………… 16
①本町の教育の未来は
- ◆ 中山喜美一 議員…………… 17
①住み慣れた我が家で安らかな医療・介護を
- ◆ 佐藤晴彦 議員…………… 18
①災害にも負けない町民育成と災害時の取り組みは
②男女が共に理解し合う「相互理解」が育まれた社会へ
③安全な武道授業の実施を
- ◆ 川面充子 議員…………… 19
①国民健康保険医療費の現状と抑制は
②2020オリンピック・パラリンピックの町の
取り組みと2022栃木国体の選手育成は
- ◆ 渡邊俊 議員…………… 20
①町内小中学校の学力向上を
- ◆ 森弘子 議員…………… 21
①医療の充実を
②北区と中台を結ぶ跨線橋の整備見通しは
③介護・福祉の対策は

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する、通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

3/2～3 傍聴者 17名

傍聴は、皆さんが選んだ議員の考えを知っていただく良い機会です。

ぜひ傍聴にお越しいただき、議員と執行部とのリアルなやりとりを間近で見たいかがですか。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD](#)・会議録をご覧ください。



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行します。
役場・図書館(中央館・仁井田分館・上高根沢分館)で貸出し、閲覧ができます。



問本町の教育の未来は？

答【教育長】本町ならではの教育環境を整え、その結果を検証し、よりよい取り組みへと改善を図り学力向上につとめる



梅村 達美 議員

Q 小規模特認校である、上高根沢小学校の事業の成果と今後は？

※小規模特認校制度とは、小規模校への学区外からの入学・転入を認めることにより、現行通学区域以外の児童・生徒に、小規模校の良さを生かした学習の機会を与えるとともに、学校規模の適正化及び受入校の活性化を目指す制度です。

A 教育長 魅力ある学校とするため、年間35時間の英語活動や、高齢者とのふれあい活動等特色ある教育を実施してきた結果、児童数は順調に伸びている。

今後は、少人数で学ぶメリットを活かし、主体的で探求的な学びをより一層推進し、自然環境、人的環境を活かした教育活動を展開していく。

Q 小中一貫教育で目指すもの狙いは？

A 教育長

平成24年に策定した小中一貫教育基本計画のもと、本町の狙いである「確かな学力の向上、豊かな心や社会性の育成、健やかな体の育成」に関するさまざまな取り組みを実施してきた。

今後、施設併設型小中一貫校での取り組みが、交流のしやすさから広がる可能性と、実施した成果と課題の検証をし、その良さを各小中学校に取り入れ施設連携の高根沢オリジナルの小中一貫教育を町全体で実施していく方針である。

Q ICT教育についてどのように取り組んでいるか伺う。

A 教育長

ICT教育環境を段階的に整備し、児童生徒の学ぶ意欲を向上させ、主体的に学ぼうとする態度を育みながらより一層の学力向上を図ってまいります。

Q 外国語活動と外国語指導助手の活用について伺う。

A 教育長

指導助手としてフィジーから直接雇用しており、リスニング力が高い傾向にあり学年があがるにつれて向上している。

Q キャリア教育の必要性と評価は？

A 教育長

キャリア教育を通じて、将来に向けた夢や希望をもち、充実した学校生活を送り、『高根沢町を愛する子どもたち』を育てたいと思っている。さまざまな活動がキャリア発達に効果的であったと報告を受けている。



新学習指導要領において、年間35時間の英語教育を実施している



問 住み慣れたわが家で安らかな医療・介護を 答【町長】医療的なケアが必要な高齢者に医療・介護 が連携しサービスを提供する



中山 喜美一 議員



3月定例会予算審査委員会審議

所管事務報告

OH知識・コミュニケーション

一般質問

特別企画

在宅医療・介護の人材確保については、県の「栃木県医療計画」、栃木県介護職人材育成指針」に基づいて確保を推進している。

Q 十分な在宅医療ができていないのか。
また在宅医療・介護に係る医師、歯科医師、看護師、ヘルパー等の確保をどうするのか？

A 町長

本町においては、在宅医療の届出を行っている診療所は一ヶ所となっており、十分とは言えない状況と考えている。

「多職種連携会議たかねざわ」を平成28年9月から開始し、概ね2ヶ月に1回開催している。
この中で、情報共有や意見交換、地域の課題抽出等を行い、顔の見えるネットワークの構築を行っており、平成29年度も定期的に会議を開催する。

Q 在宅医療・介護の係る多職種間の連携はどのようにしているのか？

A 町長



地域の連携が不可欠 皆でつくる支え合い

A 町長
介護休暇制度等の周知については、厚生労働省が「育児・介護休暇制度ガイドブック」を作成し、企業等に周知しているの、新たに独自のハンドブックを作成する考えはない。

Q 「介護休暇のとり方」等を啓蒙するためのハンドブックを作成し、企業、住民に対して周知等を行う考えはあるのか？



見守り収集の状況
これからは、近所での見守りが大切です

Q 65歳以上の、「ひとり暮らし」「夫婦のみ」の世帯数と、介護を必要とする65歳以上の世帯には、どのような支援をしているのか？

A 町長
「ひとり暮らし」が645世帯、「夫婦のみ」が739世帯となっている。
支援については、個々の状態に応じたケアプランに基づいたサービスの提供や、「見守り収集事業」の実施・「緊急通報装置貸与事業」などを行っている。

※緊急通報装置貸与事業
ひとり暮らしの高齢者、重度身体障がい者などを対象に、緊急通報装置を貸与し、急病や災害時に迅速かつ適切な対応につなげていく事業

- ※みまもり収集事業
高齢や障がい等により、ゴミを出すことが困難な世帯を対象に、町が委託しているシルバー人材センターの方が自宅へ訪問し、ゴミを収集しながら安否確認も行う事業
- ゴミ出しが困難な世帯とは？
- ① 65歳以上で、要介護・要支援認定を受けている方
 - ② 身体障がい者手帳1級・2級に該当する方
 - ③ 精神障がい者福祉手帳1・2級に該当する方
 - ④ 療育手帳A1・A2に該当する方



問 災害にも負けない町民育成と災害時の取り組みは 答【町長】「自主防災組織」の活動支援と「防災士」の 育成支援をしていく



佐藤 晴彦 議員

Q 2月に行われた災害対応訓練の評価と課題は？

A 町長

今回の災害対応訓練の内容は、震度6弱の地震を想定し、住民には「避難所開設訓練」を行った。

評価としては、自助・共助の意識醸成を目的として行ったが、その精神を浸透させるには、時間を要すると感じた。

課題は、大規模災害時には、避難所運営に関わる行政職員は限られ、住民の自主的な運営を行うことが重要である。

課題を克服するため、29年度予算に自主防災組織の活動支援と防災士の育成支援を計上した。



「簡易トイレ組み立て実習」町災害対応訓練にて

Q 災害ボランティア講座を実施する考えは？

A 町長

有事の際に、応急活動や復興活動で大きな力になるのがボランティア支援活動である。災害時に、様々な支援が必要となるため、災害ボランティア講座の必要性を認識している。

災害発生時に、一人でも多くの人がボランティア活動できるような講座の実施を検討していく。

問 男女が共に理解し合う「相互理解」が育まれた社会に向けて 答【教育長】「保健」と「道徳」の学習を総合し、 「支え合い」「思い合い」の大切さを学んでいる

Q 男女が共に支え合い、思い合える教育は？

A 教育長

保健の授業では、体の発育・発達と思春期の変化を学習し、中学校では身体機能・精神機能の発達などと心の健康を学習する。

また、道徳の授業は、小中学校で人間尊重の精神（人格・人権・人間愛）を培い、互いに義務と責任を果たす関係構築ができる学習をしている。

保健・道徳の学習により、男女が共に支え合い、思い合う大切さを学んでいる。

また、各学習や学校行事等の活動で、男女が協力する実践の場でも身をもって感じる学習もしている。

Q 教育の場で、先生が児童生徒の健康面を配慮し、成長や男女の違いを把握する上で、始業前や部活前の健康状態確認と、情報共有をすることは？

A 教育長

健康状態を把握し、指導の際に参考にすることは重要と認識している。

小中学校では、始業前の健康観察を行い授業に活かしているが、担任以外の先生には詳細の情報は共有できていない。

今後は、児童生徒の健康観察の状態を、教員が情報共有できるシステムについて、ICT教育の推進と合わせ導入を検討し、教育環境を整えていく考えである。



問「国民健康保険医療費」の現状と抑制は？

答【町長】5つの取り組みによって

抑制を図る



川面 充子 議員

Q 医療費の現状分析について、どのように把握しているのか？

A 町長

国補助金によるデータヘルス計画の導入・県国民健康保険団体連合会の各種データを利活用した、国保データシステム（KDB）により分析・検証をしている。

Q 医療費を抑制するための取り組みは？

A 町長

1. 関係機関との連携を図り、保険給付を削減する。

2. 特定健診等の受診率を向上させるため、申込み方法を見直し、FAXや新たに申込専用フォームを作成し、24時間、受付を可能とする。

3. ジェネリック医薬品※の使用を促進する。

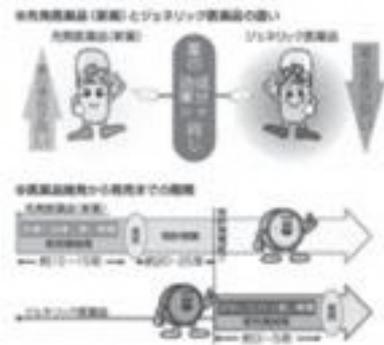
4. 保健師等専門職が、面接、電話、訪問を行い、重複受診、頻回受診、重複服薬に係る受診行動を適正化する。

糖尿病性腎症重症化予防は、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」を活用し、糖尿病の重症化と人工透析への移行を防ぐ。

5. 生活習慣病を改善するため、年間を通して、全町域で展開できるようラジオ体操を始め、本町独自の健康体操を考案する。

医療費の抑制につながるジェネリック医薬品

※ジェネリック医薬品（先発医薬品の特許が切れ、新たに販売されたあとに販売された、新薬と同じ有効成分・効き目がある価格の安い薬



問「オリンピック・パラリンピック、栃木国体に向けた取り組みは？」

答【町長】町民ホールのスクリーンでパブリックビューイングを検討



Q オリンピック・パラリンピックに向けた町の取り組みは？

A 町長

本町として大会の成功に向け、町民ホールのスクリーンを活用してパブリックビューイングなど、選手の活躍を応援する機会を考えている。

Q 栃木国体の選手育成等どうやるのか？

A 町長

町体育協会・スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどと連携し、町民が様々なスポーツに触れる場を提供でき、各種指導者の育成を図り、競技者の向上に努め、県が推進するエクセレントキッズ・ジュニア※が一人でも増えるように取り組み。

※エクセレントキッズ・ジュニア
本県の小学生から、優れた能力を持つ児童を見つけ、中学3年生まで育成し、能力を最大限発揮できるスポーツを見つめる。
本県開催の国体を中心選手として出場し、将来は国際大会で活躍する日本代表選手を目指す。
本町では3名が認定。

問町内小中学校の学力向上は？

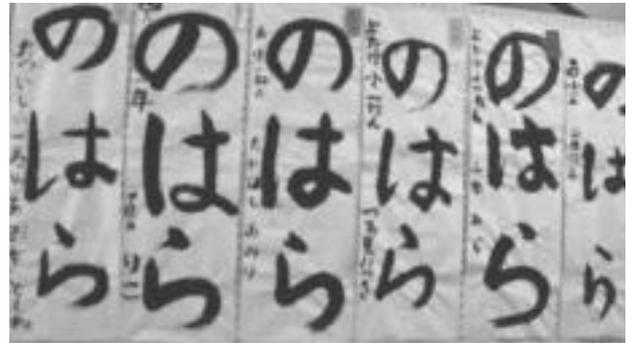
答【教育長】教員一人一人の指導力を高めて行く



渡邊 俊 議員



阿小金管バンド部の演奏風景
子どもたちの努力の影に
外部講師の指導が合わさり
すばらしい音色を響かせる



日本の伝統文化の「書道」
文字には人の心が表れます

Q

小中学生に高い学力がある町は、将来において地域の発展性があるものと考えます。
学力向上のため、主要科目で総授業数の一部の授業時間で、外部から専門の講師を招いて授業をする考えは？

A

教育長

児童生徒の学力向上には、教員の資質向上は必要不可欠である。

そのため、教職員は立場や経験年数に応じて参加を義務付けられた研修から、希望者が専門性を高めるために参加する研修など、100種類以上の研修が県教育委員会により実施されている。

各学校では、これらの研修機会を活用し、各教員の学習指導力の向上をはじめ、教育相談や特別支援教育など様々な能力を高める学級経営に必要な力を身に付けさせている。

しかし、武道指導や琴などの伝統楽器演奏、栄養、保健指導など教員がなかなか身につけられない技術や専門的知識が必要な指導に関しては、各学校で外部



現代社会で英語が必要不可欠
本町の子どもたちが世界を相手に活躍することを期待

講師を招き、子どもたちに豊富な体験機会を確保してきました。

学校が目指す学力は、学習指導要領で示すように、知識や技能だけでなく、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や

能力等まで含めたものとなっている。

このようなことから、総時間数の一部の授業を、外部講師といった形で塾の講師に依頼するということは難しいと考えており、各教員の学習指導力をより高めるための実践を図って行きたい。



問医療の充実をどう図る？

答【町長】医療費と国庫負担金の動きを注視

国保



森 弘子 議員

Q

平成30年度から、こども医療費の現物給付が中学3年生まで引き上げられます。

しかし、国は現物給付を実施している市町村に、国民健康保険の国庫負担金の減額措置を行っていません。本町の削減率と削減額は？

A

町長

国庫負担金の削減調整率は、小学生以上を現物給付にした場合は6.13%で、削減率は平成27年度の実績から算定すると、約478万円がペナルティーとして削減される見込みである。

しかし、平成30年度からは、未就学児の部分において、減額調整を行わない方向で、国の動向を注視しながら医療費の抑制を図る取り組みを実施していく。

Q

重度身体障害者の医療費助成を現物給付にできないか？

A

町長

平成27年度の助成額は、対象者449人に約3355万円、県補助金を除く町の支出は、約1677万円となっている。

現物給付を導入した場合、県補助金が減額されるなどの事態が生じ、年間約1900万円増加する見込みなので、現時点では、現物給付を導入する考えはない。

問JR烏山線の跨線橋は通行止め

解消の見通しは？

答【町長】早い時期での通行実現に向けて調整中

交通

Q

町道363号線は、北区と中台を結び重要な生活道路ですが跨線橋にひび割れがあり、通行止めになっています。対策はいかに？

A

町長

昨年10月にJR東日本が線路の点検を実施した際、橋梁のひび割れを発見した。道路管理者の高根沢町としては、その調査を専門のコンサルタン

Q

宝積寺北区と中台を結ぶ生活道路整備の今後の見通しは？

A

町長

当地域は、跨線橋の北側に踏切もあり、複雑な道路形態であることや、都市計画道路である宝積寺東通りが位置づけられている。現状では、部分的な道路改良や跨線橋の道路架け替えは非常に難しいと考え、今後は、

「構造物の機能には支障はないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい」との診断を受け、歩行者の安全確保が重要と判断し、橋梁の通行止めを決定した。現在、JR東日本と橋梁の修繕について協議を重ね、早い時期での通行実現に向けて調整中である。

北区等の宝積寺市街地の利便性の高い道路ネットワークの再構築に向けて、重点的に議論を深めていく。



3月13日に通行が可能となりました(歩行者、二輪車)

3月定例会予算審査委員会審議 所管事務報告 OH知識・コミュニケーション 一般質問 特別企画

特別企画 に聞いてみっぺ (^^)♪ 乗り越えて!!



津田 知愛さん
 将来の夢
 保育士さん
 高根沢町の好きなおとこ
 元気あつぷのジェラート
 卒業式を迎えて一言
 中学校でも
 がんばります



深田 由姫さん
 将来の夢
 トリマーさん
 高根沢町の好きなおとこ
 阿久津小学校
 卒業式を迎えて一言
 とても良い6年間でした



塚田 大琉さん
 将来の夢
 サッカー選手
 高根沢町の好きなおとこ
 小学校が楽しい
 卒業式を迎えて一言
 声を出す



金留 大和さん
 将来の夢
 ラグビー選手
 高根沢町の好きなおとこ
 イチゴがおいしい
 卒業式を迎えて一言
 ほっとした



増淵 安月さん
 将来の夢
 ソフトボール選手
 高根沢町の好きなおとこ
 自然が多くて、
 みんな優しいところ
 卒業式を迎えて一言
 感謝♪ ありがとう♪



小澤 萌さん
 将来の夢
 先生
 高根沢町の好きなおとこ
 田舎なところ
 卒業式を迎えて一言
 とても悲しかったけれど、
 でもいい思い出です

3月定例会 予算審査委員会 審査委員会 審議 所管事務報告 〇〇知識・スキルアップ 一般質問 特別企画

6年前の3月11日、この日は決して忘れることができない「東日本大震災」が発生した日。今年度の阿久津小学校の卒業生は、入学時に校舎が使えない状態でした。そのため、初めは西小学校に通い、その後仮設校舎で過ごし、そして建て替えられた新校舎で卒業した児童たちです。

震災から復興までを経験した子どもたちに、卒業を迎えて何を思うか聞いてみました。

議会広報 阿久津小学校の卒業生 東日本大震災を

卒業式取材を終えて・・・
今回取材に応じてくれ卒業生は、家族や友達、先生や地域の方たち
の中で、不遇の学校環境を乗り越え、楽しい学校生活を送ってきた
と感じました。
私たち議会は、未来の高根沢を担う子どもたちが、より良い環境の
なか育っていけるようにしっかりと取り組んでいきます。



菅山 歩香さん

将来の夢

本屋さん

高根沢町の好きなおとこ

ゆる～いところ

卒業式を迎えて一言

お世話になりました
中学校でもがんばります



木村 心音さん

将来の夢

パティシエ

高根沢町の好きなおとこ

友達がたくさんいること

卒業式を迎えて一言

いままで
ありがとうございました♡



中野 颯太さん

将来の夢

大工さん

高根沢町の好きなおとこ

のどかなところ

卒業式を迎えて一言

お父さん、お母さん
ありがとうございました



一瀬 莉来さん

将来の夢

サッカー選手

高根沢町の好きなおとこ

宝積寺駅

卒業式を迎えて一言

うれしいです



田代 優奈さん

将来の夢

ドクトレーナー

高根沢町の好きなおとこ

田んぼの景色がきれい

卒業式を迎えて一言

今までありがとう



戸沢 愛凜さん

将来の夢

ファッションデザイナー

高根沢町の好きなおとこ

友達がいること

卒業式を迎えて一言

楽しい6年間でした



誠心誠意

「町がよくなるように、職員は、まごころを持って接し、仕事をしています！」

∞プロフィール∞

若色 三男さん

出身地：石末
趣味：スポーツ観戦
職業：高根沢町役場職員



広報委員の突撃
インタビュー
あなたの声を町政に

感謝

3月に定年退職した若色三男さんに、38年間の思いを聴きました。

Q 38年間、振り返ってみてどうですか？

A 町長をはじめ、先輩や同僚のサポートのおかげで、38年間あっという間でした。特に上司に恵まれたと感じています。

Q 一番思い出に残っていることは？

A 6年前の東日本大震災。まさか、このような大惨事が高根沢町で起こるとは・・・今思い出してもいろんなことを学びました。特に3か月間だけ地域安全課で被災証明の発行をし、その時の町民との関わり、やったことのない職務、全てがとても貴重な経験です。

Q 38年間の思いを一言で

A 「感謝」

Q 仕事から得たことは？

A 新規採用の時、産業課に配属で集落懇談会がありました。この時、地域を覚え、人を覚え、そして会話を通して町民と触れ合うことの喜びを得ることができ、その後の仕事に大きく影響しています。

Q 仕事をしていく上で大切なことは？

A 対外的にも職員同士でも会話が必要。話をしないとお互いの思いはわからないです。すよね。

以前は、週末スキーへ行ったり、仕事終わりで、飲み会やスポーツをしたりして仲間との連帯感が育まれてきたような気がします。

Q 仕事をするとき大切にしてきたことは？

A 課長と部下の間に入って、常に調整役でいようと心がけていました。

管理職になると少ない部署はもちろん、大人数の部署ほど声掛けは必要です。「いつも見るよ」と。

Q 退職後の予定は？

A 再雇用で働きます。年の功で職員をフォローしていきたいです。実務に関しては日々勉強ですね。

プライベートでは、畑仕事と地域の人の付き合いを深めていきたいです。



第2の人生、土と向き合います！

「取材を終えて」

日本には「縁の下の力持ち」、「縁の下の掃除番」、「縁の下の舞」、「陰の松の奉公」、「簀の子の下の舞」、「内助の功」、「闇の独り舞い」など、故事のことわざがある。

いずれも人目につかないところで、他人を支える苦労や努力をする人のこと。

このような人が、みんなの夢を支えている。

人が大好きで人の輪を大切に思う若色さん、これからも地域や職場で「縁の下の力持ち」を十二分に発揮してくれることを期待しています。ご活躍楽しみです。

次回定例会のお知らせ

次回の定例会は6月6日～15日予定。
日程詳細・議事録は、
町ホームページをご覧ください。

議会の情報をより早く皆様へ

発行は4月・7月・10月・1月の20日になります。

議会だよりを一緒に作ってみませんか？

議会だよりを作成するにあたり、文章校正や誌面レイアウト、写真撮影などが得意な方、ぜひ一緒に作ってみませんか？
詳しくは議会事務局まで TEL.028(675)8111

広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索